

2010 Expert Collection

11月号 通巻第314号



株式会社

エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in Japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048(281)1322 FAX 048(286)0866

<http://www.exp-japan.jp> e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

景気回復祈願セール

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。景気回復祈願セールとして下記商品を格安にてご提供させていただきます。

- 特別価格 通常の商品を上代の 40% にて納品させていただきます。
- 限定数がなくなりしだい、このセールは終了します。
- 期間 2010年10月15日 までで終了
- ご注文の際 セール分 と明記してください。
- ユーザー対象外

	対象商品	(上代)
ST3	チタン5P $\bar{\text{c}}$ set	税込価格 / ¥5,544 限定数 100台
ST5	クロモリ5Pset	税込価格 / ¥4,200 限定数 100台
ST6	クロモリ5P $\bar{\text{c}}$ set	税込価格 / ¥4,830 限定数 15台
ST9	リトルベアー $\bar{\text{c}}$ set	税込価格 / ¥9,450 限定数 200台



ST3



ST5



ST6



ST9



アイゼンの発明特許申請のお知らせ

何年もまえからあたためていた企画です。本年1月には谷川連峰・白毛門でフィールドテストを実施。岳友より絶賛を得ました。(続々 徒然の山。第94章 白毛門参照)
特許申請を2011年10月末日にすませます。乞う、ご期待。

向日葵日誌

8月19日 ロシアヒマワリが枯れはじめる。丈は2㍍にとどまる。プランターのミニヒマワリは大半が枯れる。かろうじて6株のみ直径6㍍の花を咲かす。丈は20㍍。ロシアヒマワリは昨年3㍍ほど伸び、ミニヒマワリも50㍍ほどには成長して多くの花を咲かせたはず。猛暑が原因と思われる。本年の向日葵日誌はこれで終了します。

完売しだい終了します

エイトリングスコーピオン

つづきのエイトリングです。下降時にザイルがリング上部に集まらない工夫がなされた最新のけん垂下降器です。



- 材質/アルミニウム合金 ● 強度/1600 kg
 - 重量/120 g ● 色/黒 ● 税込価格/¥3,150
- 在庫数 7ヶ。完売後廃盤とします。

「続 徒然の山」出版のお知らせ

1994年1月より営業誌「月刊エキスパートコレクション」に連載された「続 徒然の山」が2002年4月の第100章でピリオドをうちました。当時、弊社にはホームページがありませんでしたので一般の方々には伝えようもありません。

多くの方々に読んでいただくために名山を厳選、47章を1冊にまとめた「続 徒然の山」を作成中です。自費出版するか電子出版にするか、あるいはホームページに掲載するかは未定です。只今、入力作業実施中です。完成の際は結果を含めてご報告させていただきます。

【目次】		続 徒然の山
第1章	霧島山	1994年3月
第2章	白山	5月
第3章	岩手山	6月
第4章	十勝連峰・富良野岳～三峰山～上ホロカメツク山縦走	7月
第5章	白馬岳	8月
第6章	大峰山系・弥山～八経ガ岳～釈迦ガ岳奥駈道	10月
第7章	黒斑山	12月
第8章	雲取山	1995年1月
第9章	祖谷溪・剣山	4月
第10章	伯耆大山	5月
第11章	九重・大船山	6月
第12章	鳥海山	7月
第13章	御嶽山	8月
第14章	上高地・焼岳	9月
第15章	越後・金城山	10月
第16章	両神山	12月
第17章	開聞岳	1996年4月
第18章	瓶ガ森	5月
第19章	針ノ木岳・蓮華岳	7月
第20章	北大雪・平山と比麻良山	7月
第21章	白神岳	8月
第22章	由布岳	1997年3月
第23章	斜里岳	7月
第24章	秋田・駒ガ岳	9月
第25章	鈴鹿・竜ガ岳	11月
第26章	祖母山	1998年4月
第27章	石鎚山	5月
第28章	八甲田大岳	6月
第29章	大雪・十勝岳	8月
第30章	蝶ガ岳	10月
第31章	花巻・駒頭山	11月
第32章	大菩薩嶺	1999年2月
第33章	阿蘇・根子岳	4月
第34章	芦別岳	6月
第35章	八甲田・楡ガ峰	7月
第36章	北ア・笠ガ岳	8月
第37章	南部焼石岳	9月
第38章	六甲山	10月
第39章	定山溪・無意根山	2000年4月
第40章	英彦山群・鷹ノ巣山	5月
第41章	六甲・摩耶山	7月
第42章	飯綱山	9月
第43章	伊吹山	12月
第44章	多摩・大岳山	2001年1月
第45章	守門岳	4月
第46章	大雪・旭岳	5月
第47章	斑尾山	9月

続 徒然の山 その序

いつまで 登るんだよ なんて
野暮は いいつこなしにしましょう
きょうのつづきは きのうのつづき
山は終りのない ものがたりです
ほかにもやること ありやせんし
疲れたら いつぼんたてて
休みあきたら また旅をさる
徒然の山

1994. 2. 6 記

やまのかたりべ 序文

かたりべ
語部 古代、儀式に際して旧辞、伝説を語ることを職とした品部。しなべ出雲、美濃、但馬などに分布。
(広辞苑より)

本誌連載の「続々 徒然の山」が先月(通巻第 313 号で)第 100 章を迎えました。100 章発行ごとに完結するのが弊社の慣例です。

本紀行の内容が、最近では温泉と観光地めぐりにもおよんでいます。もちろん主役は山です。山の周辺の温泉や観光スポットはあくまでも脇役にすぎません。

それらの物語を皆様に語かたり伝える紀行の題名はよくよく考えたすえに「やまのかたりべ」と名付けました。徒然の山同様、一読下さいませ。

やまのかたりべ 第 1 章 石割山と山中湖周辺

いしわれやま
石割山 山梨県南東部、富士山麓の山中湖北側にそびえる富士山の好展望地。山梨百名山。標高 1413 ㍎。山頂南下には山名となった縦割れした巨岩が鎮座し、コンクリート造りの石割神社が祀られる。アクセスは富士吉田駅からバスに乗り、平野で下車。道志方向に少し進み、石割神社前社手前を左折する。駐車場右方の小広場が登山口。赤鳥居をくぐり 403 段の石段を登る。

文学の森公園 山中湖南湖畔。四季折々の豊かな自然と芳醇な文学の香りが漂う森。三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館、その他の施設が点在する。山梨県南都留郡山中湖村平野 506 の 296。山中湖観光課 電話 0555(62)9977。富士吉田駅からバスで文学の森公園前下車、徒歩 5 分。

オーベルジュ フォンテーヌ・ブロー山中湖 オーベルジュは伝説の宿泊施設をもつレストランの意。このオーナーは元帝国ホテルのフレンチ料理人。山中湖南岸の森の中に建つ温泉つき 10 部屋の小奇麗なオーベルジュ。

温泉は石割の湯と同じ湯。(温泉名)山中湖・平野温泉。(泉質)アルカリ性単純温泉。(泉温)25.6℃。(効用)神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、うち身、くじき、関節のこわばり、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進。(性状)無色、透明、無臭。加水せず。加温、消毒をする循環ろ過式。PH 9.96。内湯、露天風呂とも家族で入浴できる貸切制。R138 山中湖畔、旭日丘交差点R416、野鳥の小路 6 番右折 5 分要す。山中湖村平野 508 の 65。電話 0555 (62)9980。筆者とワイフはフォンテーヌ・ブローを基点として 3 日間、山のかたりべに^{いそ}勤しむ。

山中湖・花の都公園^{みやこ} 山中湖の西北湖畔。富士山にもっとも近い標高 1000 ㍎の高原に広がるリゾート。敷地面積 30 ㍎、一面が花で埋めつくされたフラワーパーク。無料エリアにはお花畑。有料エリアには全天候型温室「フローラルドームふらら」をはじめ、落差 10 ㍎、幅 80 ㍎の明神の滝、三連大水車、溶岩樹型地下観察ゾーンなどの癒しの空間「清流の里」とサイクリングロードなどの施設がある。山中湖周辺では富士吉田駅発の周遊バス「ぐるりんバス」が便利。花の都公園入口下車、徒歩 15 分。山中湖村山中 1650。電話 0555(62)5618。

山中湖温泉・紅富士の湯^{べに} 山中湖西岸。富士山の絶景と豊かな自然、広い空間が自慢の日帰り温泉。内湯と露天風呂には檜と石の湯。サウナ、ジェットバス、源泉ぬる湯、岩盤浴とリラクゼーションスペースなどが整う。(温泉名)山中湖温泉。(泉質)アルカリ性単純泉。(泉温)25.6℃。(効用)神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うち身、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、美肌。(性状)加水せず。加温、消毒をする循環ろ過式。PH 9.7。周遊バス紅富士の湯下車。花の都公園入口からは徒歩 5 分。山中湖村山中 865 の 756。電話 0555(20)2700。

富士サファリ パーク 東名高速道路御殿場 IC から車で 20 分。フォンテーヌ・ブローからは 32 ㍎、車で 1 時間要す。標高 850.5 ㍎の富士山南麓、敷地面積 74 ㍎。クマゾーン、ライオンゾーン、チーターゾーン、ゾウゾーン、一般草食ゾーン、山岳草食ゾーンに多くの動物が放し飼いにされている。入園者は園内バスやマイカーでサファリゾーンをぐるりと回り、車内から動物たちを観察する。サファリパークでは人間がまるで檻のなかにいるかのような錯覚に陥る。また、ウォーキングサファリでは自然にあふれたコースを歩きながら、サファリゾーンの動物を各観察ポイントからも見物できる。さらに、ふれあい牧場、ネコの館、イヌの館、どうぶつ村では動物とふれあえ、ナイトサファリも体験できる。

静岡県裾野市須山字藤原 2255 の 27。電話 0555(98)1151。

猛暑の石割山

きっかけはテレビだった。花の都公園にヒマワリが大群落するとの報道を見て山中湖行きを思いつく。山中湖エリアには観光スポットも多い。名山に登って、ついでに観光をするプランを成行きでたてる。

8 月 22 日 猛暑日

観測史上最高の酷暑が全国的につづいている。暑さと車の渋滞を避けるために早朝に出発する。おかげで、まだ涼しいうちに登山口近くの駐車場に到着する。

落合い場所はここで正午と決め、登山準備をする。その間別行動をとるワイフの車は走り去る。登山口の赤鳥居は右の木橋を渡ったすぐ近くに立っているのに、うっかりして赤鳥居を見落す。登山口を捜して舗装路奥の砂砂利をうろろう歩き、タイムロスをする。

赤鳥居から石段を登り始める。石段の奥行きが広すぎて 2 歩すすんで、つぎの段を登る。真ん中の手すりも握って手がかりにする。直上して踊り場についても、なおも石段は右上に延びている。石段脇のベンチに座って小休止する。

石段を登りきると富士見平にでる。広場の東屋風の避難小屋に日陰を求めてまた休む。富士見の

地名は富士山が間近に見える^{いわ}謂れがある。この日は炎天下なのに山は雲に覆われている。糞暑い。緩斜の幅広道がしばらくつづく。石割の湯から上る砂利道と合流するが、道なりに進む。ただし、往路を下山する際は分岐に注意する。

道幅が狭まり大きな桂の御神木が現れる。すぐ後ろには釜の形をした「お釜石」が居座る。ここから湧きだす岩清水が桂川、相模川の源流だと案内板に記されている。

わずかな登りで石割神社にたどり、お賽銭を上げて参拝する。神社の右の割れ目が入った巨大な石を見上げ、石の割れ目を通過する。悪人は通れないという伝説があるらしいが難なくクリア。にっこり笑う。

左方をしるす道標にしたがって滑りやすい登山道を急登する。崩壊している所が何箇所かある。笹をかき分け、木の根をつかみ、フックスロープをたよりに、ひたすら登る。

樹間に青空が広がり、突然、山頂に飛びだす。送電線の鉄塔が立つ広い石割山山頂から山中湖、大平山を俯瞰する。晴れた日には見えるはずの目の前の富士山から遠く南アルプスまでの大展望は雲に隠される。



えんてんの
石割山に
たとうとも
たかねのやまは
ころも まといて

休憩時間を含めて登りに2時間あまりかかっている。

現在11時。ワイフと駐車場で待ちあわせた時間まで1時間しかないと気がつく。

あとから順次、登ってくる人たちに迷惑をかけないように気配りしながら、いま来たコースを急いで下る。富士見平の東屋に一服ただけで403段の石段を7分間で駆け降りる。

息を切らせて駐車場で待つワイフの車に合図する。なんと40分足らずで下山できた。

隣接するトイレの水道を借りる。山靴の汚れを洗い流して助手席に乗り込む。

今日から世話になるフォンテーヌ・ブローに行くには早すぎる時間だった。昼食をすませて文学の森に立ち寄り時間を費やす。フォンテーヌ・ブローのディナーはフレンチのフルコース。だされた料理はどれも美味。くやしいかな山の疲れで食欲がない。早起きしたせいか猛烈に眠い。

2010年／単独行

《タイム》

恵比寿	6:04
(車、首都高～中央道～東富士五湖有料道)	
石割神社前社(車)	8:22
登山口駐車場	8:25
403段の石段登り	8:40
富士見平	9:16～9:30
石割神社	10:00～10:18
石割山	10:50～11:03
石割神社	11:20
富士見平	11:35～11:40
登山口駐車場(車)	11:47～12:12
文学の森(車)	13:20～14:35

8月23日 真夏日

山中湖畔の森の中では流れる風にも清涼感がある。水道水もかなり冷たい。朝食をゆっくりすませてヒマワリが咲く山中湖西北湖畔の花の都公園に訪れる。午後はその近くの山中湖西湖畔の山中湖温泉・紅富士の湯で温泉三昧をする。

フォンテーヌ・ブロー9:25 発→山中湖・花の都公園 9:50~12:30→山中湖温泉・紅富士の湯 13:20~15:15→フォンテーヌ・ブロー15:48 着

夕食は今日もおいしいフレンチのフルコースをいただく。ほぼ完食する。

8月24日 猛暑日

今日は盆明けの火曜日とあってサファリパークは空いているはずとたかをくくっていた。ところが大盛況で駐車場はほぼ満車。金網に守られて野生動物にエサを与えるなど、大接近できるジャングルバスに乗るには5時間待ちだという。仕方なくマイカーでサファリゾーンをひと巡りする。

一般草食ゾーンではでかいキリンが車道を悠然と闊歩する。車列はキリンを避けて右往左往する。3日も富士山麓に居ながら富士山を一度も望めなかった。とはいえ、いい旅をする。

「遊び疲れた。帰ろう」

フォンテーヌ・ブロー9:25 発→富士サファリパーク 10:37~12:10→御殿場IC 東名自動車道経由→川口帰社 16:40



便利なニッポン レッドバットシリーズ

マイナーチェンジを繰り返した完成品です。

レッドバットはピッケルのシャフトにセットできます。その際は石突きの穴にスコップ柄部分のボルトをはめて蝶ボルトを締めて下さい。専用のシャフトにセットする際も先端の穴にスコップ柄部分のボルトを入れてロックして下さい。

レッドバットは4隅の10mm中穴を利用してデットマンとしても使用可能です。



機能美追求 レッドバット (SN11)

ジュラルミン製
カラー：ピンク
サイズ：222 mm×258 mm 重量：365 g
新雪が付きにくいショッキング
ピンク塗装がしてあります。
税込価格：¥5,460

2010年1月に細身のピッケルにもセットできるようマイナーチェンジしました。



多目的 レッドバット用 シャフト (SN12)

ジュラルミン製
カラー：ブルー 長さ：54 cm 重量：275 g
雪掘り能力がアップするD型グリップつき。シャフト上部の6mmローブを通す穴はスノーハーケン用。
税込価格：¥5,250



氷も切れる レッドバット用 スノーソー (SN13)

特殊鋼(SK-5)製
カラー：ブラウン(赤色焼付塗装)
サイズ：405 mm×25 mm 重量：115 g
レッドバット用シャフトに収納でき、シャフトが柄にもなるラチェットつき。氷・雪用鋸。
税込価格：¥4,830